

～若手社員として求められる・己の成長に寄与する意識と基礎力を育む～

# 若手社員戦力化コース

- ストレス耐性が高い『仕事ができる人材』を育成するコースです。
- 自立（自律）型人材の特長や行動を学習し、自分の仕事や人生をマネジメントできる力を身につけます。
- 組織原則や構造を学習し、組織の一員として組織の成長へ貢献していく姿勢を身につけます。
- 伝達や情報収集等のコミュニケーション力を学習し、良好な人間関係の形成と協働の姿勢を身につけます。

## 特徴

- ケース・モデル事例を多用した演習により、自分自身のアクションプラン策定のヒントを得られるカリキュラムです。  
自立（自律）型社員の特徴や行動を学習するとともに、自分自身の分析を行うことで、ありたい姿やアクションプラン（行動計画）を立てる際の指針を明確にします。
- ストレス耐性を高め、持続的に成長・活動するためのポイントを学びます。  
業務を担う一員として継続的に成長・活動していくためにも、メンタルヘルスの基礎知識・ストレス耐性を高め、モチベーションを保つコツを学びます。
- 個人の業務遂行から、現場の中核・リーダーとなる際に求められる組織の視点を学びます。  
これまで若手社員として担ってきた個人での業務遂行から、今後現場の中核やリーダーとして求められるチーム・組織の視点で、どのような役割や行動が求められるのかを学びます。

## 【第1日】10月15日（火）

### オリエンテーション

1. 自身の現状分析  
【演習】自己分析～自身の強みと弱み～
2. 組織における私たちの役割  
(1) 組織について  
(2) 自身のマネジメント  
(3) 世の中の変化と組織  
【演習】業務遂行に対する考え方  
(4) 組織が求める人材＝自立（律）型人材
3. 役割を果たすための業務遂行力を高める  
(1) P D C A サイクルの正しい理解と実践  
(2) 問題意識を高める  
【演習】職場の問題  
【演習】マトリクスを活用した情報整理  
(3) 報告・連絡・相談の意義と実践

## 【第2日】10月16日（水）

### 1日目の振り返り

4. 業務遂行に向けたコミュニケーション力を高める  
(1) 自己成長できる人材・できない人材  
【演習】不快なできごとの分析  
(2) 良好的な人間関係づくりの心構え  
(3) 自己主張ができなくなる要因と対策  
(4) 適切な自己表現  
【演習】自身の要望を伝える手法  
(5) わかりやすい伝え方  
【演習】比較提案のスピーチ  
(6) コミュニケーション総合演習
5. メンタルヘルスの基礎知識  
(1) メンタルヘルスの基礎知識  
(2) ストレス耐性を高めていく
6. 行動計画策定

### まとめ

# 「若手社員戦力化コース」申込書

◇◆◇FAX:027-289-0038 又は Email:gpc@vi.sunfield.ne.jp にてお申し込みください◇◆◇

組織名			
所在地	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
会員区分	1. 一般	2. 生産性本部会員	3. その他 (○で囲んでください)
派遣ご担当者 お名前		ご所属/ お役職	
備考			
参加者	お名前	ご所属	
	お名前	ご所属	

- I. 開催日： 令和元年 10月 15日（木）～16日（木） 9:30～16:30
- II. 会場： 群馬県勤労福祉センター 第4会議室（2階）
- III. 講師： 三浦 哲 氏（公益財団法人日本生産性本部 担当部長）
- IV. 対象： 現場で業務遂行の中核を担う役割を期待される中堅社員  
(目安：新卒5～10年目の社員)
- V. 受講料： 会員 8,000円 一般 11,000円  
※お申込み受付後、請求書を郵送いたします
- VI. 締切り： 令和元年9月20日（木） ※期限後はお問い合わせください

## 三浦 哲 講師

公益財団法人日本生産性本部 グローバルマネジメントセンター 経営開発ユニット担当部長  
カウンセリング・マネジメントセンター講師・知の技術研究開発センター講師・健康いきいき職場づくりフォーラム講師、産業カウンセラー  
慶應義塾大学法学部卒、(財)日本生産性本部入職後、管理者向けマネジメント・目標管理実践・人事考課・部下育成などの研修を行うほか、一般社員向け新入社員、中堅社員研修を実施。「支援的管理実践シリーズ」などの著書多数。年間150日間に及ぶ研修実施など、経験、実績ともに豊富。



### 【講師からのコメント】

本研修は、『仕事ができる人材』を育成するコースです。

ケース・モデル事例を多用した演習により、若手社員として求められる「己を成長させ続ける意識」と「業務遂行のための基礎力」を育みます。

同時に、今後現場の中核・リーダーとして求められる、「個人の視点からチーム・組織の視点」、「求められる役割を自覚し、行動につなげるポイント」についても学んでいただきます。